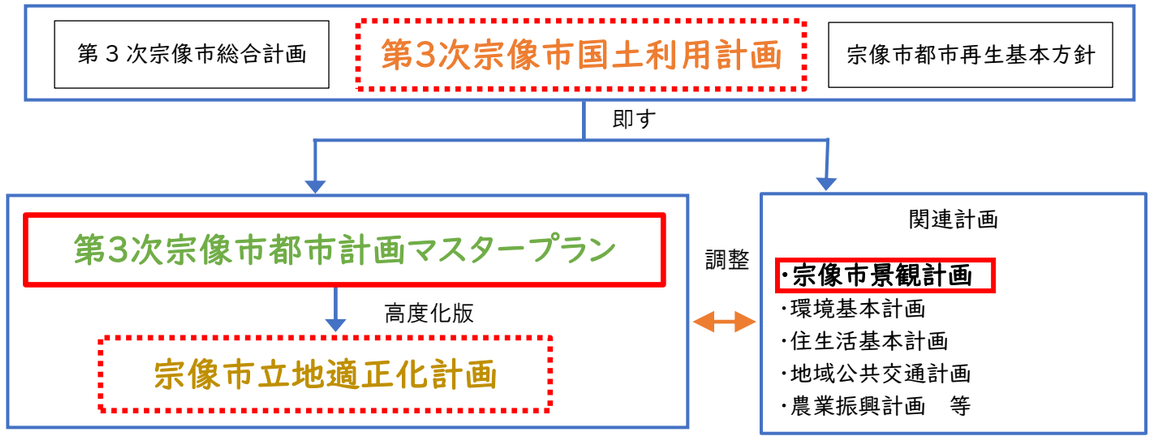
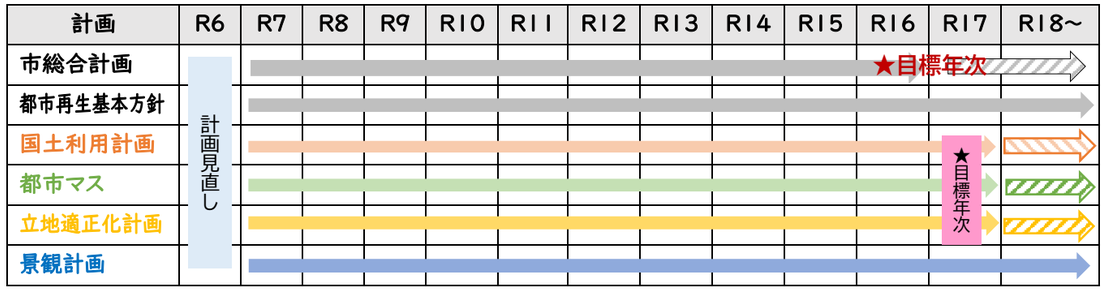
宗像市のまちづくりに関する計画の概要

1. 各種計画の位置づけ



2. 計画のスケジュール



3. 各種計画の概要

■第3次宗像市総合計画

【まちの将来像】 ずっと住みたいまち宗像

【都市分野の目標】 心地よい生活空間の中で、安心して住み続けられるまち

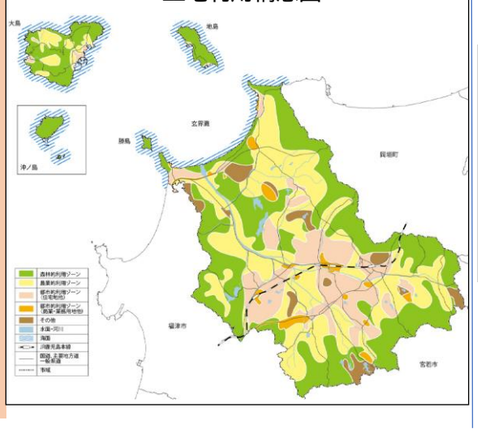
■国土利用計画　※国土利用計画法第８条

【改定ポイント】
○社会情勢の変化に対応した土地利用転換
○市のまちづくりの動向を踏まえ今後10年を見据えた土地利用構想

【基本理念】
1. 拠点性の向上と将来にわたる利便性の確保
2. 豊かな地域資源の継承
3. 既存ストックの有効活用
4. メリハリのある土地利用の誘導

【基本方針】
1. 集約型都市構造の充実
2. 既存ストックの活用による定住・転入・交流人口の拡大
3. 安心して快適に住み続けられる住環境の形成
4. 地域特性に応じたメリハリのある土地利用の規制・誘導
5. 多彩な地域資源の保全と積極的な活用

土地利用構想図



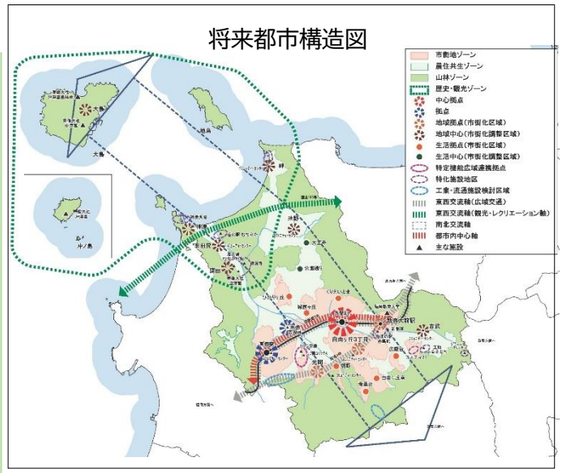
■都市計画マスタープラン　※都市計画法第 18 条の2

【改定ポイント】
○コンパクト・プラス・ネットワークの深化と拠点性の向上
○地域特性を活かした、戦略的な土地利用の推進による市の活力創造
○既存ストックを最大限に活かした、多様な主体との共創による持続可能な都市の実現
○激甚化・頻発化する自然災害、地球温暖化への対応
○多彩な自然・歴史文化資源を活かした観光交流拠点の形成

【都市づくりの基本理念】
宗像版多極連携の集約型都市構造の形成

【目指すべき都市像】
コンパクトで魅力的な地域がネットワークする生活交流都市
1. 誰もが住み続けられる、快適で安全・安心な「まち」
2. 活発な交流・活動を生み出し、人々の暮らしや文化を育む「まち」
3. 多彩な自然・歴史資源と共生する「まち」
4. 観光拠点を磨き上げ、交流ネットワークを育む「まち」
5. 多様な主体との共創により新たな価値やイノベーションを創出する「まち」

将来都市構造図



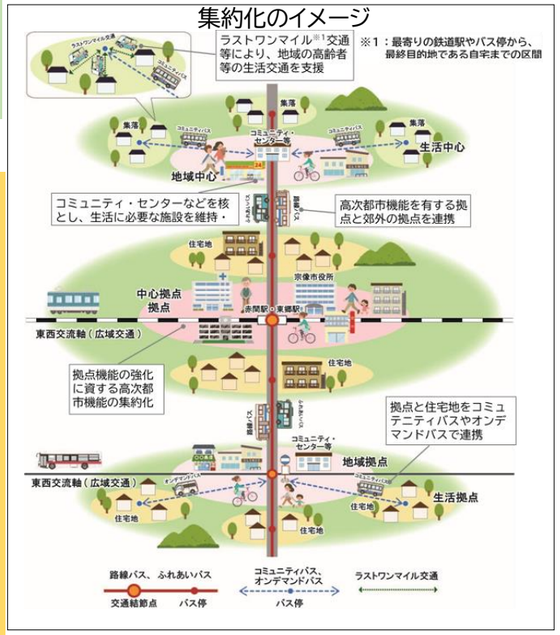
■立地適正化計画　※都市再生特別措置法第 81 条

【見直しポイント】
国土利用計画と都市計画マスタープランの改定に合わせ、見直し
○災害に強いまちづくりを目指し、防災指針を新たに策定
○誘導区域を見直し、良好な住環境が整備されたエリアを居住誘導区域に含める一方、災害リスクの高い地域を居住誘導区域から除外
○効果的な施策を推進するため、施策指標・目標値の見直し

【目標】
コンパクトに形成された良好な既存ストックを活用する多世代交流都市

【立地適正化に関する基本的な方針】
1. 拠点の設定による周辺への都市機能集積
2. 都市機能及び公共交通の利便性が高い地域への居住誘導
3. 拠点・中心を連絡する公共交通の充実
4. 災害に強いまちづくり

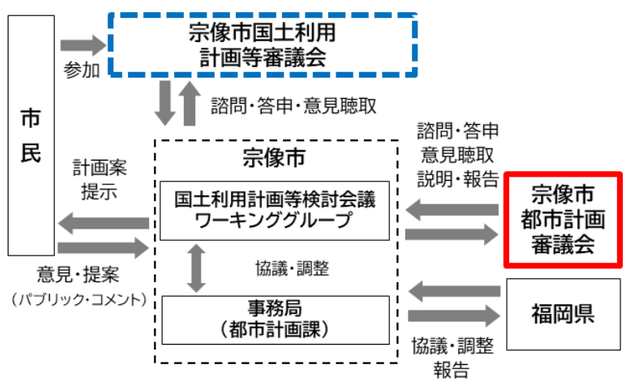
集約化のイメージ



4. 国土利用計画等審議会(R7.2.26)の答申内容

【国土利用計画・立地適正化計画】
<諮問>計画の策定・変更に関する調査審議
<答申>2 計画の案が適当であると認める答申

【都市計画マスタープラン】
計画への意見聴取
→案のとおり同意する意見

都市計画運用指針に基づき、都市マスについて
令和６年 10 月４日、都市計画審議会に諮問

まちづくり関連　3計画策定体系(イメージ)